



6月



ほけんだより

令和7年6月
瀬戸SOLAN学園
発行：保健室

雨やくもりの天気が続きやすい6月になりました。晴れていなくても、じめじめと湿度が高かったり、風通しが悪くないところにいたりすると熱中症になる危険があります。その一方で、雨の日に思ったより気温が下がることもあります。その日・その時に合わせて半そでの上から薄い上着を着るなど体調を崩さないために心がけましょう。

雨の日は、
登校する時に靴下や靴が濡れてしまったという子をたくさん見かけます。
ぬれてもいいように**タオル**や**くつ下**を
自分で持ってきてきましょう！



雨の日の登下校、こんな
ことに気をつけよう！

雨の日は
気をつけて

レインさんは小学4年生。学校が
終わって下校するところです。今日
の天気予報はくもりのち雨。予報の
通り雨が降ってきました。傘をさし
て歩き出したレインさんの様子を追
いかけてみましょう。

わー、水たまりがいっぱい。
ぬれた靴下はすべったし、
帰りも気をつけよう

ちよっと待って。
そんなに深く歩いたら周りが見えないだろ

えっ！
傘がしゃべった

!!

そんなことより、
もっと周りが見える
ように傘をさして。
周りが見えないと
人やものにぶつかっ
ちゃうかもよ

わかった

えっ、
気づかなかった
車が来てるよ

ちよっと待って！
車が来てるよ

えっ、
気づかなかった
車が来てるよ

雨音で車の音が聞こえにくいよ。
しかも運転手さんからはこんなに
見えにくいんだ。だから雨の日の
事故は晴れの日より多いかもよ。
もっと道路の端を歩こうね

本当だ。
かなり見にくいね

服と傘の色を明るくしたり、傘やカバン
に光を反射するリフレクターをつけたり
もしてね。雨の日は暗い色の服や傘だと
周りの人から見えにくいよ

そうなんだ、
今度から気をつけるよ

傘、ありがと！
無事に家についたよ。
あれ？

レインさんはこの後も、
傘にリフレクターをつけて
大切に使用しているみたいですよ。

雨の日は晴れの日よりも危ないので注意が必要です。レインさんの傘の教えを忘れずに過ごしてくださいね。

雨の日に安全に歩くためのポイント

- 足元に注意する
- 傘を深くささず、周りをよく見て歩く
- 傘や服は明るい色にする
- かばんや傘にリフレクターをつける